

2024年7月25日発行

未知の世界を生きていく子どもたちに

研修部長 東地 真友美

いつの間にか、コンサートやスポーツの観戦チケットはネットで購入し、スマホ一つで入場できるようになりました。スーパーではセルフレジになっていて、客が自分で決済をするお店が増えました。それどころか、スマホ一つで自宅に食べ物が届きます。旅行だって、初めて行く場所でもカーナビが案内してくれ、便利な世の中になったなと実感します。コロナウィルスによる影響もあって、Chromebookが一人一台使えるようになり、学校でのICT化は急速に進みました。一方で、世界では信じられないような戦争が今も続き苦しんでいる人たちが大勢います。また、夏がこんなに暑くなるなんて、誰が想像していたでしょうか。まさに、予測困難で先行き不透明な激動の時代（VUCAの時代）を迎えていると言ってもよいのではないのでしょうか。この先行き不透明な激動の時代を子どもたちはこれから生きていかなければいけません。これからの学校は、子どもたちが「生きる力」（変化の激しいこれからの社会に適應する力）を育み、予測困難な時代を生き抜く力を付けていくことが求められています。

そこで、子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を以下の三つの柱にまとめました。

- ・学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」
- ・実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
- ・未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」

この、三つの柱を身に付けるために現在の学習指導要領で重視されているのが、『主体的で対話的で深い学び』（アクティブラーニング）です。

先日、校内で研修会を行いました。3年2組の算数「あまりのあるわり算」の学習です。子どもたちは、前の日の学習から「こうなるはずだ」と予想します。「知識および技能」を使っています。また、ある子は「自分の考えを確かめるために、友達と交流したい」と言い、別な子は「自分の考えをみんなに話したい」と言います。「学びに向かう力」です。更に、グループでの交流を通して、問題文の言葉に着目し、「キーワード」を見付け出しました。「思考力・判断力・表現力」につながります。3年2組の子どもたちは、30度を超える暑い中、45分間一生懸命に考え、自分の考えを表現し、みんなで一つのキーワードにたどり着くことができていました。

本校では、このような子どもたちの姿を目指し、授業改善に取り組んでいます。特に今年度は、子どもが主体的に学びを進めていく『AARサイクル』（見通し・行動・振り返り）を意識して授業づくりをしています。これは、昨年度までの取組と大きく変わったことではありません。子どもたちがそれぞれの思いをもって学びたいことを学んでいくという姿をより具体的にしたものです。私たちは、このAARサイクルが充実する授業づくりをし、より子どもが主役である学習を行っていこうと考えています。子どもたちに今必要な力は何か、時代の変化を敏感に捉え、より深い学びへとつなげていきたいと思ひます。

8月の行事予定

24日(土)	
25日(日)	
26日(月)	2学期始業式(4時間授業給食あり) 引取下校訓練(12:55 引取開始)
27日(火)	教育実習開始 夏休み図書返本(低・<) 6年出前授業
28日(水)	夏休み図書返本(中) SC 来校日 6年こころの劇場(弁当持参)
29日(木)	木曜8日課 夏休み図書返本(高) ALT
30日(金)	ALT 6年出前授業
31日(土)	

夏休みの課題について

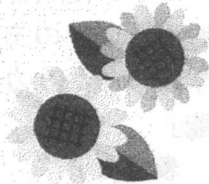
本校では全校統一した夏休みの課題をドリル「夏のびのび」としています。提出方法や学年から出される課題等につきましては、学年便りまたは懇談会資料での御確認をお願いいたします。

*生活表につきましては、提出の必要はありません。御家庭で御活用ください。

★今年度より、自由研究は夏休み・冬休みともに任意での取組といたします。

★取り組んだ作品につきましては、学級前に1週間程度掲示し返却いたします。賞状等はありませんので、御了承ください。

★夏休みのクロームブックの持ち帰りはありません。



「夏季休校日」の設定について

札幌市教育委員会では、昨今、全国的な課題となっている教職員の長時間勤務等への対応策として、夏休み期間中に「夏季休校日」の取組を実施しています。これに伴い、本校では、8月13日(火)～16日(金)を夏季休校日とし、年末年始と同様に、学校としての休校日とさせていただきますので、御理解と御協力をお願いいたします。なお、夏季休校日の取組につきましては、市教委教職員課労務係(211-3853)にお問い合わせください。夏休み中に急な転居など連絡が必要になった場合は学校にお知らせください。

平日 8:10～16:40

学校電話 881-8191

上記時間外の緊急連絡(夜間・休日・休校日)は学校メールにてお知らせ下さい。件名は「緊急」を入れた上で、内容をお書き下さい。

kitanodaira-e@sapporo-c.ed.jp

引取下校訓練について

先日、別紙で引取下校訓練についての案内を家庭数で配付いたしました。詳細を御確認ください。

1. 日時

8月26日(月)給食終了後 12:55～13:15

2. 時程

12:50 不審者想定 of 放送(児童へ)

12:55 保護者引取開始(誘導いたします)

13:10 引取下校終了

13:15 方面別見守り下校開始

*兄弟、姉妹がいる場合は、上のお子さんから、順番に引き取りをお願いします。

*引取がないお子さんにつきましては、13:15から方面別見守り下校を行います。下校時刻は13:20となります。

*ミニ児童会館を利用する場合は、ミニ児童会館に事前申請を行い、お子さんにもミニ児童会館にいく旨、お伝えください。併せて学校へもご連絡を忘れずをお願いします。

教育実習生について

8月27日(火)から9月20日(金)の4週間、北海道教育大学札幌校の学生2名が、本校で教育実習を行います。

配属学級は以下のようになります。

釜 悠記(かま ゆうき)さん(4年2組影近学級)

松村 莉子(まつむら りこ)さん(3年2組山内学級)

悩みや困難を抱える児童に「しじめ電話相談(少年相談室)」「24時間子供SOSダイヤル」「子どもアシストセンター」などの相談窓口を活用することができます。児童が安心してSOSを出すことのできる相談窓口として、ご活用ください。

札幌市立学校事故調査委員会

札幌市では、「体罰事故調査委員会」制度を運用しています。この委員会の目的は、体罰事故に関する調査の透明性及び公平性を確保し、事実関係をできるだけ正確に調査することにあります。

・委員会は、市内の学校の校長、PTA(元役員を含む)及び第三者委員で構成されます。

・学校において、体罰事故が発生した場合は、体罰事故調査委員会立ち会いのもと、教員、児童生徒及び保護者からお話を聴くこととなります。

・日頃より体罰が起きないように、万全を尽くしますので保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

・児童生徒及び保護者から、体罰・性被害の相談を専門に受け付ける「体罰・性被害の相談窓口」を設置しています。

電話番号：272-6034

受付時間：平日 10:45～16:45(土・日・祝日は除く)

石井月平の書

立正佼成会
立正佼成会

新書の各編第100巻第10冊

北野平

(木)日

1825-2401-090 17まじち標令の崖財 業務三

令和6年7月吉日

地域ならびに保護者の皆様

札幌市立北野平小学校PTA
会長 坂本 陽

北野平小学校 資源回収のお知らせ

<令和6年度について>

毎月2日が回収日です。

8月2日(金)、9月2日(月)、10月2日(水)、
11月2日(土)12月2日(月)、1・2月はなし、
3月2日(日)

回収の方法

※各ご家庭の前の歩道にお手数でも、不用の品物をお出してください。

(雨の日も同様です。必ず歩道に置いてください。)

その際には必ず「北野平小」と書いた紙(本紙裏面)を上につけてください。

・9:00よりお昼にかけ、回収車が各ご家庭を回り、資源の回収をします。

回収量の多さなど、諸般の事情から回収時刻が遅くなり、午後になることもあります。ご了承ください。

資源の種類

○古新聞・週刊誌 ○雑誌等、本類 ○段ボール ○ビール瓶

○アルミ缶 ○牛乳パック ○ティッシュの箱

※テトラパックマークの物の学校での回収は令和4年度からは行いません。資源回収に出していただきますようお願いいたします。

※15時になっても回収されない場合には、

三洋産業 担当の今野さんまで! 090-1045-7261